



元気っ子

No.241 ながさわ保育園

平成 29 年 9 月号

園長 市川 温 予

8 月は不安定なお天気が多く、局地的な豪雨が各地で増え、山地や河川の多い日本は「いつ・どこで・どんな」自然災害が起きてもおかしくない状況だと思います。保育園では毎月避難訓練を行っていますが、いろんな事態を想定し、いかに命を守るかということを真剣に考えて訓練をしていかなければと思っています。

プール、だいすき！

7 月にプール開きをしてからお天気の良い日はどの子ども嬉しそうに水着に着替え、プールに入ると満面笑顔の子ども達でした。水着に着替えることも最初は時間がかかり、先生達が手伝ってあげることも多かったのですが、今はスムーズに着替えることができるようになり、脱いだ服も上手にたためるようになりました。

毎日の繰り返しで丁寧に先生達が指導してきたからこそその結果だと思います。生活の中でとても大切なことだと思います。また、プール遊びも日を重ねるごとに苦手だった子がだんだんできるようになることが増え、ダイナミックに遊べるようになりました。見ているとどの子ども全身で楽しんでいるのが伝わってきます。

子ども達はいろんな遊びを通して様々なことを学んでいきます。プール遊びも泳げるようになることが目的ではなく、楽しみながら水と親しむことを大切に保育をしています。友だちと一緒にバシャバシャ水をかけ合ったり、顔つけをしてみたり、ワニ歩きや浮輪でプカプカしてみたりと色々な経験をすることが大切です。先生達も十分に安全に配慮しながら、監視をしっかり水の事故がないように、また一人ひとりの体調もよく見ながらプール遊びをしていました。本当に子ども達の歓声を聞いていると「子どもらしいなあ。とっても大事な今(時間)を過ごしているんだ。」と思います。やりたいことを繰り返し何度もしながら自分というものを育て大きく大きく成長していくのだと思います。この夏子ども達一人ひとりがいろんなことができるようになりました。水着が一人で着れるようになったこと、プールで顔つけができるようになったこと、潜れるようになったこと、セミが捕まえられるようになったこと、カブト虫に触れるようになったことなどいろんなこと全てが子ども達の成長です。これが実体験した大切なものなのです。

これからは、10 月の運動会に向けてこの夏に積み重ねてきた子ども達の力をさらに伸ばし、からだづくりをしていきたいと思っています。

